

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から3か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

テーマ：緑

「緑」と聞いて、中高生の皆さんはどのようなイメージを持つでしょうか。自然、農林水産業、環境といった大きなテーマから、私たちの身近にあるものまで、様々な緑についての本を集めました。

▶ リストの見方

No.	書名 著者名(出版社, 出版年)【請求記号】	【 】は調べものの部屋の請求記号で、日本十進分類法 (NDC) を元にしてあります。
-----	---------------------------	--

▶ 緑色を知る

1	日本の伝統色 濱田信義 企画・編集(ピエ・ブックス, 2007)【757.3】	一口に「緑色」と言っても、彩度や明度の違いにより様々な色があります。常盤(ときわ)色、若竹色、萌黄色、苗色、木賊(とくさ)色…日本で緑色がどのように表され、使われてきたかを、歴史の流れの中でつけられた色名から調べられます。
---	--	---

▶ 緑を訪ねる

2	日本縦断空の旅：雲に乗った気分で見てみよう (パイインターナショナル, 2014)【291.08】	北海道から沖縄まで、日本各地の風景を空から眺めることができる写真集です。森林、棚田、草原、山、古墳など、雄大な緑の広がりを、雲に乗ったような気分で楽しめます。
3	自然散策が楽しくなる!コケ図鑑 古木達郎, 木口博史 著(池田書店, 2023)【475】	少し足を止めて周りを見渡すと、街中のいたるところにコケが生えています。身近によく見られるコケ植物約430種について、豊富な写真とともに解説するハンディサイズの図鑑です。家の周りや旅行先で観察してみると面白い発見があるかもしれません。

▶ 緑と生きる

4	マングローブの木：アフリカの海辺を緑の林に スーザン・L・ロス 文とコラージュ, シンディ・トランポア 文, 松沢あさか 訳(さ・え・ら書房, 2013)【653.4】	アフリカのエリトリアにある村ハルギゴで始まった、マングローブ植樹プロジェクトを描いた絵本です。貧しい村だったハルギゴが、マングローブの恵みと人々の努力によってだんだん豊かになっていく様子を、コラージュで表現しています。
5	木が泣いている：日本の森でおこっていること(岩波ジュニアスタートブックス) 長濱和代 著(岩波書店, 2023)【652.1】	日本是世界有数の森林国です。古くから人の暮らしと森が深くかかわり、豊かな森林が形作られてきました。しかし、現代では手入れされず荒れた森が増え、大きな問題になっています。森と人とのより良い未来について考えてみませんか。

▶ 緑を考える

6	世界でいちばん素敵なSDGsの教室 小林亮 監修(三才ブックス, 2021)【333.8】	SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標はカラフルなアイコンで表現されており、このうち3つが緑色です。過去には別の道をたどっていた「環境」と「開発」についての考え方が、ひとつの大きな道となったSDGs。この本は、改めてそれぞれの目標について見つめ直すきっかけを提供しています。
7	世界の食・農林漁業・環境：テーマで探究. 3 二平章, 佐藤宣子 著(農山漁村文化協会, 2023)【610】	日本列島は「緑の列島」とも呼ばれ、森と海がつながってエコシステム(生態系)を作り出しています。地球環境問題に注目が集まる中、エコシステムを基盤とする林業や漁業の持続可能性について、テーマごとに探求できる一冊です。

▶ ここにも緑

8	世界の茶文化図鑑 ティービッグズ, ルイーズ・チードル, ニック・キルビー 著, 伊藤はるみ 訳(原書房, 2017)【619.8】	緑茶は、私たちにとって最も身近な飲み物のひとつです。そんな緑茶をはじめ、世界中で愛されているお茶についての総合的なガイドブックです。茶葉の種類や育て方、お茶を使った料理、各地域のお茶文化など、お茶について幅広く解説しています。
9	ムーミン谷の絵辞典：英語・日本語・フィンランド語 トーベ・ヤンソン 絵・文, ヨエル・ヤコブソン 編, 末延弘子 訳(講談社, 2014)【893.6】	「ムーミン」シリーズで有名なスナフキンは、緑色の帽子がトレードマークです。「緑」はフィンランド語で「vihreä(ヴィヒレア)」といいます。原作者自らが描いた可愛いイラスト満載の辞典で、日本語・英語・フィンランド語を比べてみましょう。
10	グリーンスローモビリティ：小さな低速電動車が公共交通と地域を変える 三重野真代, 交通エコロジー・モビリティ財団 編著(学芸出版社, 2021)【685.5】	グリーンスローモビリティ、略称グリスロは、時速20km未満という低速で公道を走る電動車両です。環境に優しく、運転もしやすいグリスロは、地域の「足」や観光用の乗り物として様々な自治体で活躍しています。各地の先進的な事例から、地域コミュニティ変革の可能性を探ります。

過去の展示の資料リストは、当館HP上の「ウェルカム展示」に掲載しています。(https://www.kodomo.go.jp/use/room/teens/exh.html)